

# シユウカツは実は「楽しい期間」 新たな友、新たな経験に喜びを知る

**就** 職活動真っ最中のS子。2月から大学へ行くことがなくなった。全くないのだ。代わりにと言ってはナンだが、週に3、4回は就職説明会や試験、面接のため都心に出る生活に変わった。

それでは？荒れる。主に食生活で。1日に3件予定を入れていているようなときは、朝から晩近くまで都心にいる生活で、ろくすっぽ自炊生活はできない。外食ばかりになる。

それでもそんな機会を逆に利用してみるのがS子である。ちゃっかりと、外食の機会を有意義に使って、大学の外、つまり就職活動の中で新たな友達を見つけようと試みる。すると、案外、友達は簡単にできるものなのだ。

S子には他大学で同じ業界を目指している友達が何人かできた。都心にお互いが出ているときには、共にご飯を食べに行く。エントリースーフトを見て指摘し合ったり、面接の練習をしたりする。なんと生産的な時間なのだろう。嬉しくなる。確実に

知り合いが増えていく楽しみ。広がりは無限だと感じられる。

勿論、今までの友達とも、同じ悩みや課題を持つ仲間として会って深い話をするようになった。勇気づけてくれ、また自分も相手を元気づけることができる。

そんな友達存在は、大学生活の中で得た一番大事なものだ、とそう実感できる。就職活動は思ったより悪くない。むしろ良い経験だと胸を張って言える。人間関係を深め、広げることができる最高の機会だ。

同じ世代の人だけでなく、沢山の大人とも出会えている。普段聞けない人の話を聞ける。普通は会えない人に会える。チャンスだと思い、この機会をしっかりと利用して楽しめている自分がいることを客観的に見てS子は驚く。

1年前に先輩達を見てみると、就職活動は少しも楽しそうに見えなかったものだ。あくせく動き

回るばかりに見えた。しかしS子は確実に楽しんでいる。そのことに喜びを覚えつつ、早く内定という桜が

# 過ちを繰り返す、長い休みの過ごし方 「ヒマがあると」「やるはず」「ないと」「やる」

**試** 験も終わり長い休みが始まる

**三** 頃、私はいつも休み中にやることを計画する。買ったのにまだ読んでいない本を読もうとか、苦手な英語を勉強しようとか、旅行に行くとか、資格の勉強をしようとか。せっかくな休みは長いだから有意義なものにしないと勿体ないという焦りの気持ちがある。

しかし、休みが始まるとすぐにこの計画は崩壊する。大体計画の半分は達成できない。「せっかくなの休みだし今日は寝よう」とか、「今日は寒い(暑い)から家にしよう」となって貴重な休みを潰していく。そしていざ計画を実行しようと思いついた時には、すでに遅しで、休み

が終わる直前になっているのだ。

私の友人の多くもまた、私と同じ「過ち」を犯し

咲かないかと、日々面接へと足を運ぶS子である。

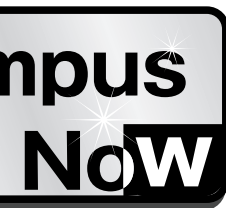
(桃)

ている。

何故このような結果になるか考えたのだが、たぶん人間は、ヒマが有り過ぎると駄目なのだという結論にたどりついた。ヒマがあるといつてもやれるという気になつてしまい、結局はやらない。一方、ヒマがないと何とか時間を作つてやらなければという意識が働くため、やる。要は休み中にたてた計画を完璧に実行するには、意志の強さが無ければ駄目だということだ。

私のように意志の弱い人間には、とても無理だということだ。

では、あえて計画を立てずに休みを過ごしたら良いのかといえはそうでもないらしい。何の計画も立てずに休みを過ごす、本当に何もなしに休みを終えるからやめた方がいい、とこれもまた友人が教えてくれた。普段、「ああ〜休みがほしい」と



思うことが多々あるが、いざ休みを与えられると上手く活用できない。休みは、休むためにあるのだから休むべき、かというところ、それでは勿体ない気がする。休みをいかにして有

意義に過ぎずかということとを考えると、思いのほか難しいことである。

(上)

## 家のアイドル、その名は『ミッキー』 でもシートに水溜まり…トホホの毎朝

昨年12月26日、我が家に犬が来た。1日遅れの最高のクリスマスプレゼントである。

ミニチュアダックスフンド、シエータッドクリームの男の子、その名は『ミッキー』。まだ生後5ヶ月、やんちゃ盛りである。

いろんな所でおしっこしちゃうし、いろんな物をかじっちゃうし、今まで静かだった、我が家が嘘のよう。今は、毎日てんやわんやの大騒ぎだ。ミッキーが家に来てから、家の中が自然と明るくなった気がする。自然とミッキーの話題になり、ミッキーとじゃれ合う。すっかり我が家のアイドルだ。

最近ミッキーと、私のベッドと一緒に寝ている。寝る前には、必ずミッキーをトイレに連れてく。一応、

布団を汚さないためだ。ミッキーと一緒に寝ると、ミッキーの寝息、鼓動を感じることができる。ミッキーもちゃんと生きているのだなど、ヒシヒシ実感する。

いつも一緒に熟睡する。犬なのに、犬だから？くうくう言ってる寝顔を見ると、本当に癒される。でも、毎朝必ず、5時から6時にペロペロ起こされる。眠い目をこすりながら、リビングに連れていき、餌をあげる。この時起きないと、ベッドが大変な事になるからだ。

今日も、朝ミッキーに起こされ、下に連れて行く。まずは、一安心。と思いきや、後になって気付いたが、ベッドのシートと布団に、大きな水溜まりがふたつ。トホホである。それでも、一緒に寝ることがやめ



られない、犬ばかな私である。  
(蘭)

# 学生記者募集

## 新生 & 2年生

あらゆるジャンルの取材現場へ。  
マスコミに通用する取材力、  
文章力を鍛えます。

お申し込みは、4月25日(金)まで。

中央大学入学センター内『Hakumonちゅうおう』編集室  
(編集担当：伊藤)

042-674-2146